

全般季節予報支援資料 1か月予報

2025年7月31日

予報期間：8月2日～9月1日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

特に注意を要する事項

北・東・西日本では、向こう1か月は気温の高い状態が続くでしょう。特に、期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。

出現の可能性が最も大きい天候

- ・北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・東日本では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・西日本と沖縄・奄美では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

全般1か月予報

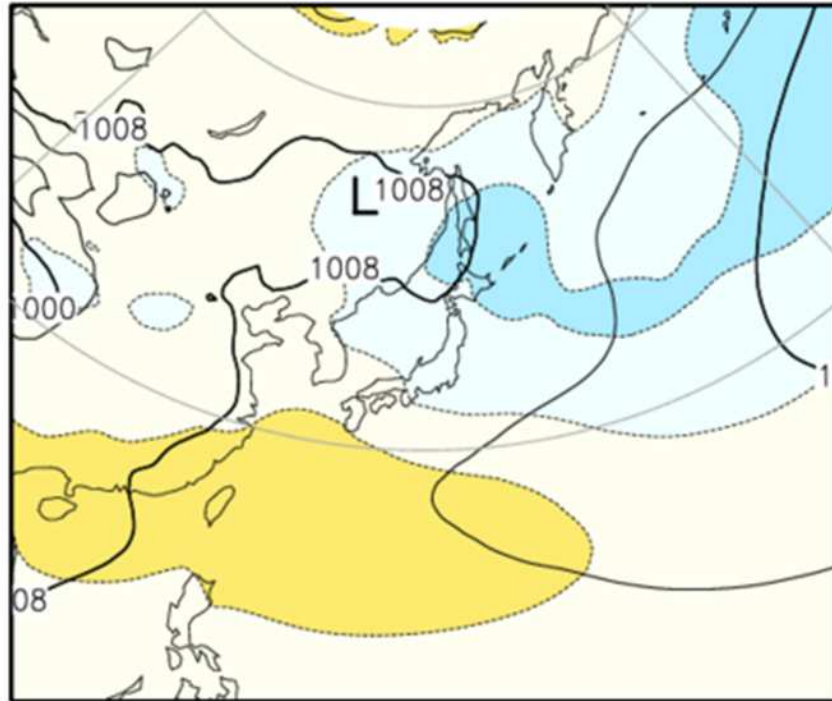
1か月		気温(%)	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
		低 並 高	少 並 多	少 並 多	少 並 多
北日本	日本海側 太平洋側	10:30:60	20:40:40 30:30:40	30:30:40 30:30:40	
東日本	日本海側 太平洋側	10:20:70	20:40:40 30:30:40	30:30:40 30:30:40	
西日本	日本海側 太平洋側	10:30:60	30:40:30 40:30:30	20:40:40 20:40:40	
沖縄・奄美		30:40:30	40:40:20	20:40:40	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3～4週目(%)
	低 並 高	低 並 高	低 並 高
北日本	10:10:80	20:40:40	10:30:60
東日本	10:10:80	20:30:50	10:30:60
西日本	10:10:80	20:30:50	20:30:50
沖縄・奄美	30:50:20	20:40:40	30:40:30

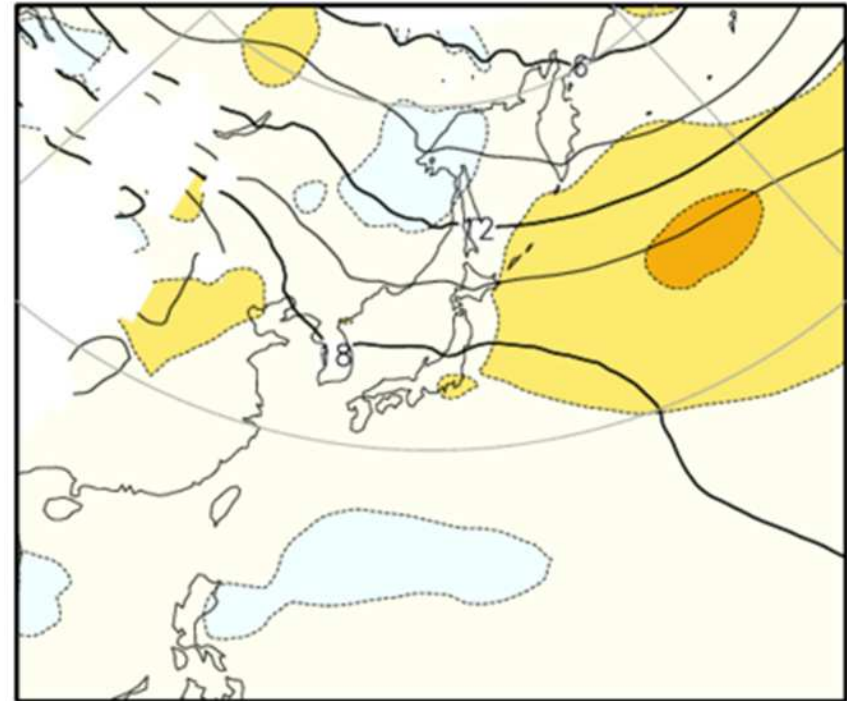
全般予報のポイント

- 北・東・西日本では、暖かい空気に覆われ、気温のかなり高い状態が続いています。向こう1か月の気温も、暖かい空気に覆われやすいため、高い状態が続くでしょう。特に、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。
- 向こう1か月の降水量は、北・東日本日本海側では、低気圧や前線、湿った空気の影響を受ける時期があり、平年並か多いでしょう。一方、沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年並か少ないでしょう。
- 向こう1か月の日照時間は、西日本と沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年並か多いでしょう。

海面気圧(1か月)



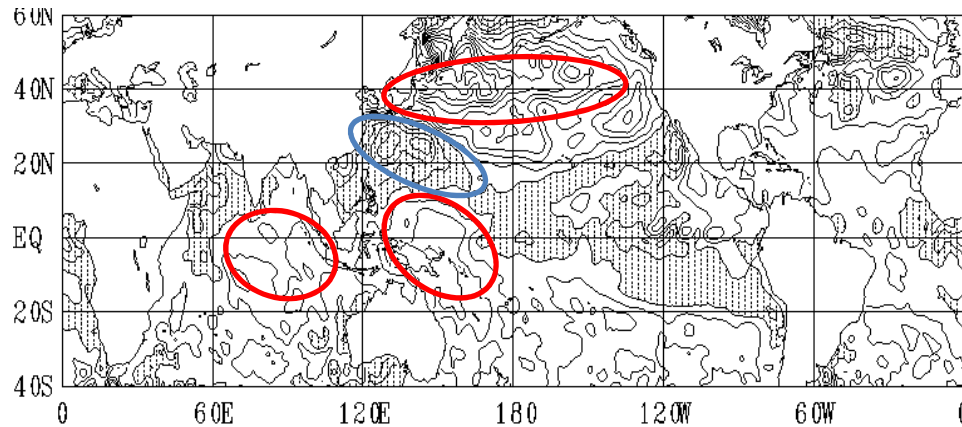
上空約1500mの気温(1か月)



1か月平均の海面気圧(左図)は、太平洋高気圧が日本の南海上から西日本に張り出す一方、中国東北区から北日本は低圧部となっています。北・東日本中心に低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい時期と、西日本と沖縄・奄美を中心に太平洋高気圧に覆われやすい時期があるでしょう。

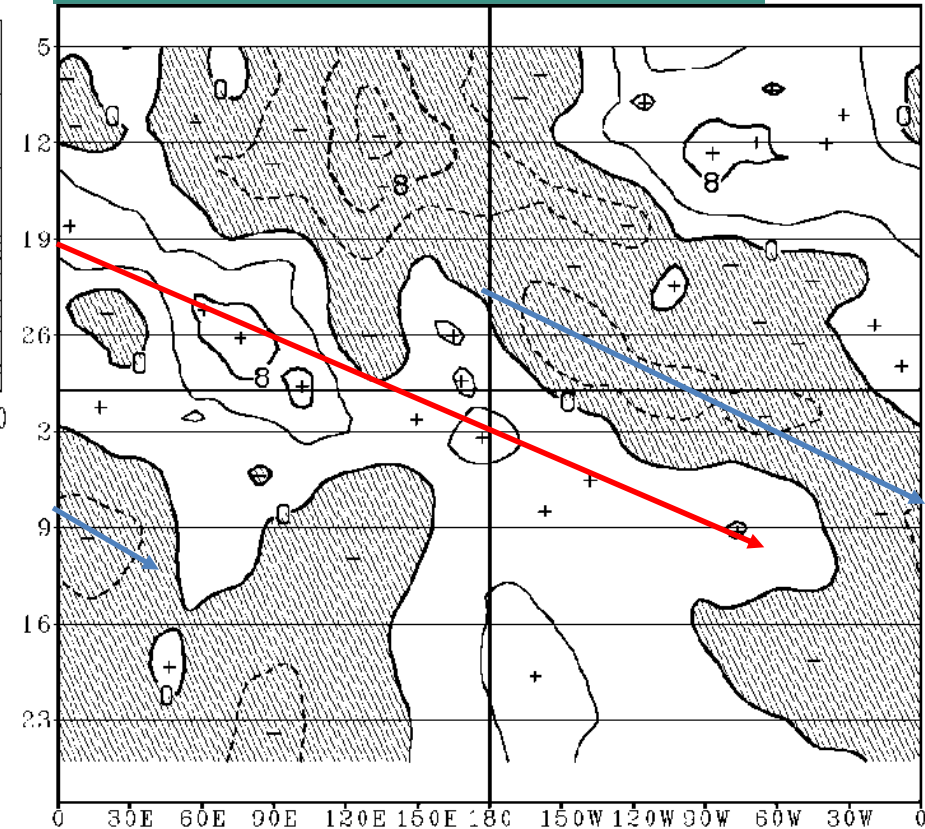
上空約1500mの気温(右図)は、日本付近では平年より高いと予測されています。

SST偏差



熱帯域では、インド洋東部、太平洋西部で正偏差。また、日本海から北太平洋中緯度帯で広く正偏差。日本の南から沖縄・奄美で負偏差。

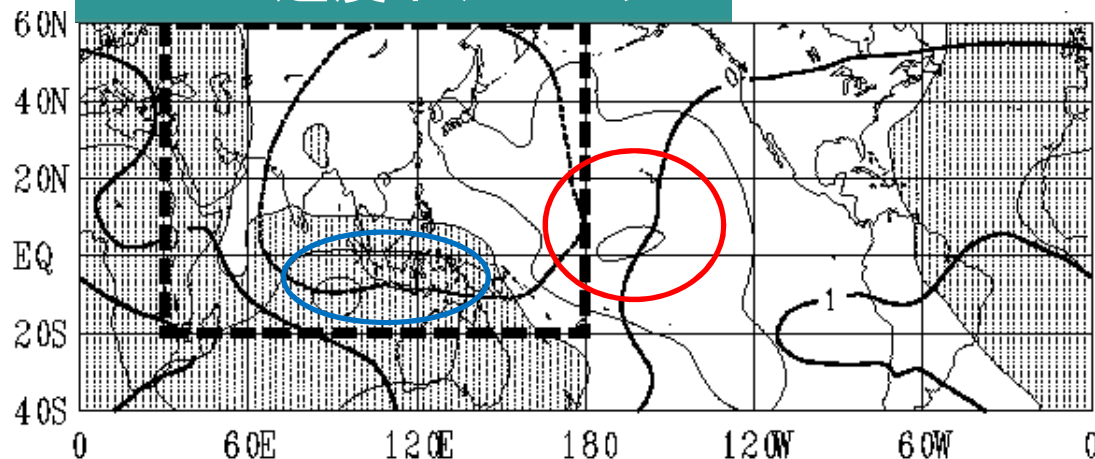
200hPa速度ポテンシャル偏差



発散偏差域(対流活発域)が、1週目から2週目にかけて、太平洋熱帯域の東部からアフリカに東進したあと、3週目以降はインド洋で対流活発な状態が持続する。収束偏差域(対流不活発域)が、1週目から2週目にかけて、太平洋熱帯域の西部から南米に東進する。

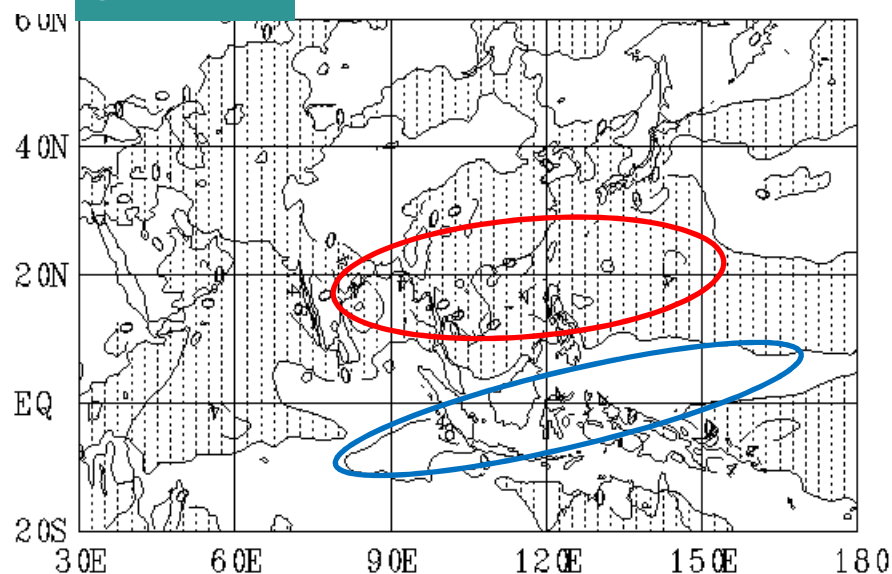
予報資料の解釈 1か月(8/2~8/29)

200hPa速度ポテンシャル



インド洋からインドネシア付近で上層発散偏差。一方、太平洋熱帯域の中部で上層収束偏差。

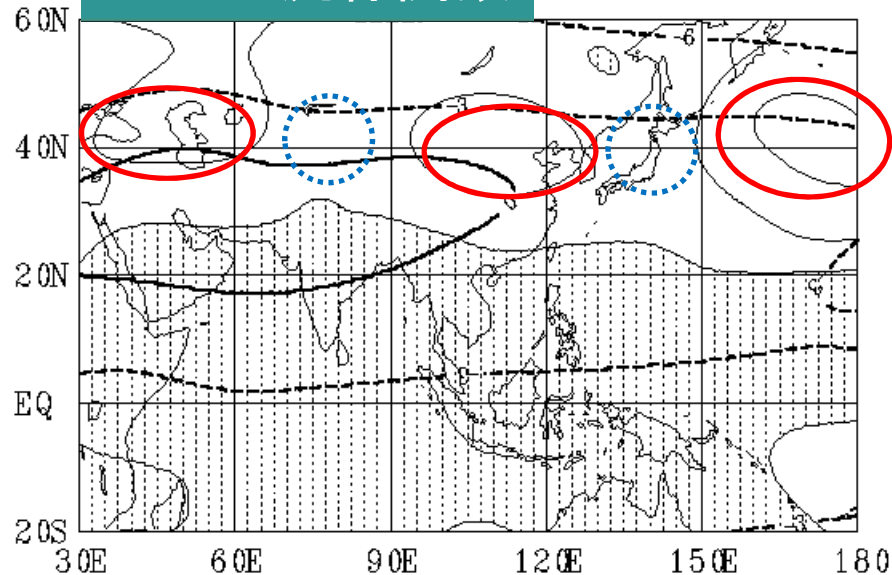
降水量



ベンガル湾からフィリピンの東海上にかけて少雨偏差。インド洋赤道域の東部からニューギニア島の北東海上で多雨偏差。

予報資料の解釈 1か月(8/2~8/29)

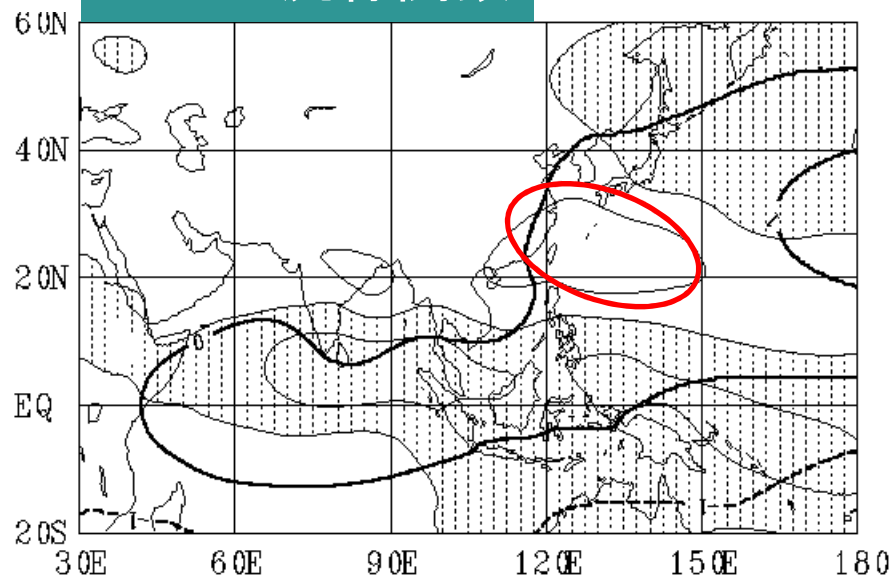
200hPa流線関数



アジアから太平洋にかけての亜熱帯ジェット気流に沿って波列パターンが見られ、日本付近は、相対的な低気圧性循環偏差。

平均的には、ユーラシア大陸から太平洋の中緯度帯は高気圧性循環偏差で、亜熱帯ジェット気流は北偏して流れる。

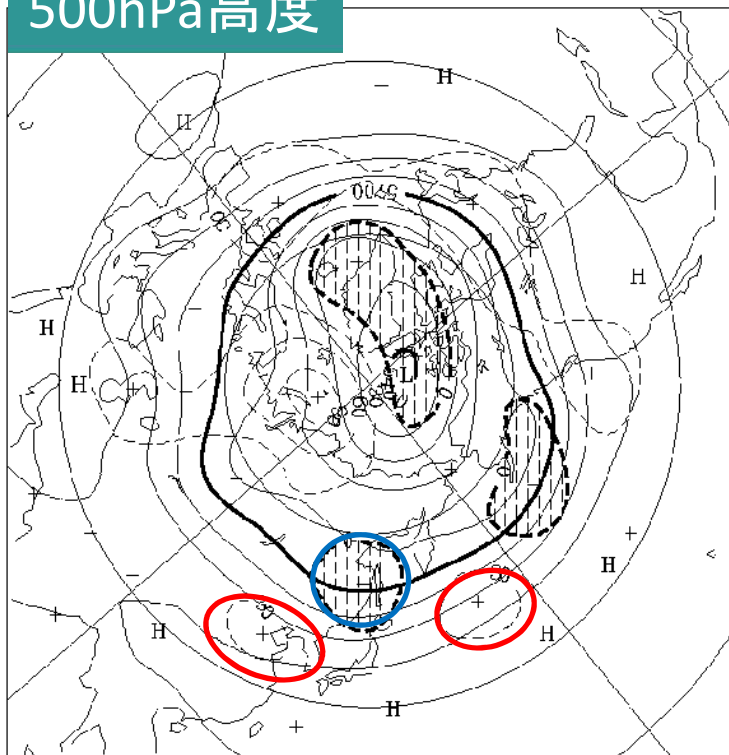
850hPa流線関数



日本の南は高気圧性循環偏差で、太平洋高気圧が日本の南で強いことを示している。また、西日本に張り出しており、日本付近が高気圧に覆われやすい時期があることを示している。

予報資料の解釈 1か月(8/2~8/29)

500hPa高度

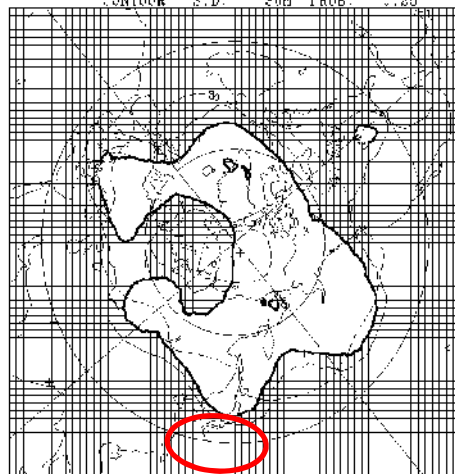
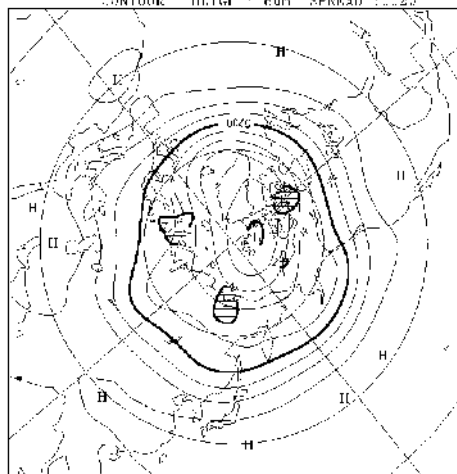


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR HEIGHT: 40m SPREAD: 0.25

CONTOUR S.D.: 20m PROB: 0.25

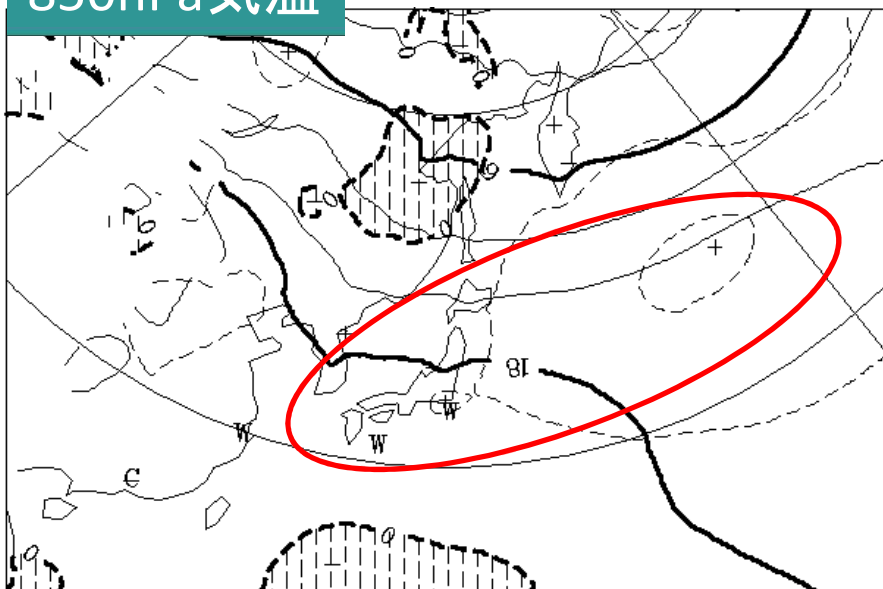


北半球の中緯度帯は、ほぼ全域で正偏差。日本周辺では、華北付近と日本のはるか東海上で正偏差が大きく、日本付近はその間の気圧の谷となり、北海道以北で負偏差。

東日本以西で正の高偏差確率50%以上の領域に覆われる。日本付近ではスプレッドの大きい領域はない。

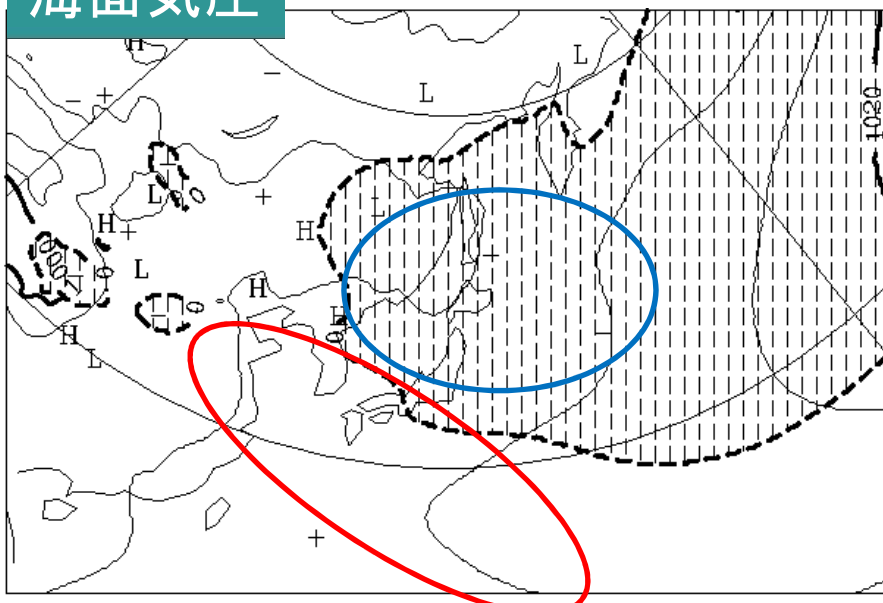
予報資料の解釈 1か月(8/2~8/29)

850hPa気温



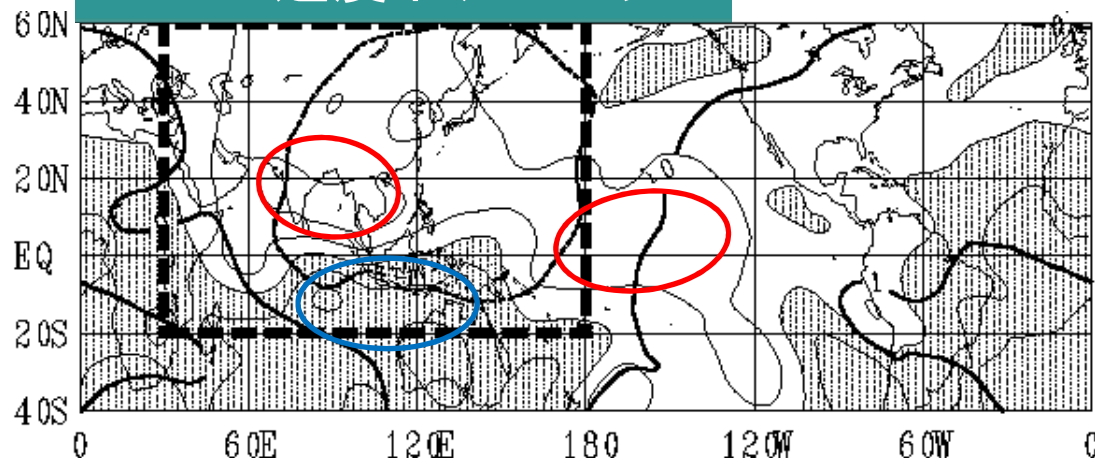
日本付近は、正偏差に覆われる。

海面気圧



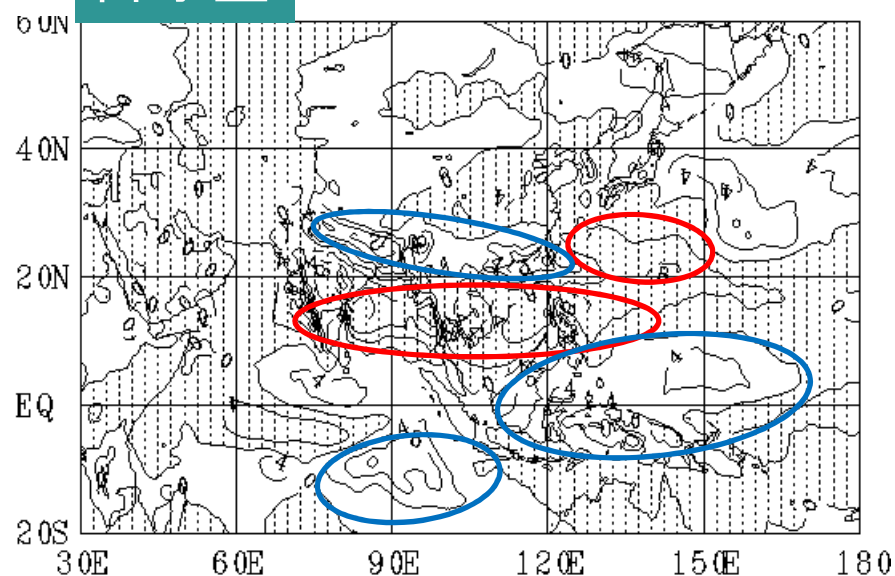
日本の南海上は正偏差、東日本以北は負偏差。太平洋高気圧は日本の南海上から西日本に張り出している。北・東日本中心に低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい時期と、西日本から沖縄・奄美中心に太平洋高気圧に覆われやすい時期がある。

200hPa速度ポテンシャル



インド洋熱帯域の南東部からインドネシア付近で上層発散偏差。インド洋北部と太平洋熱帯域の中部で上層収束偏差。

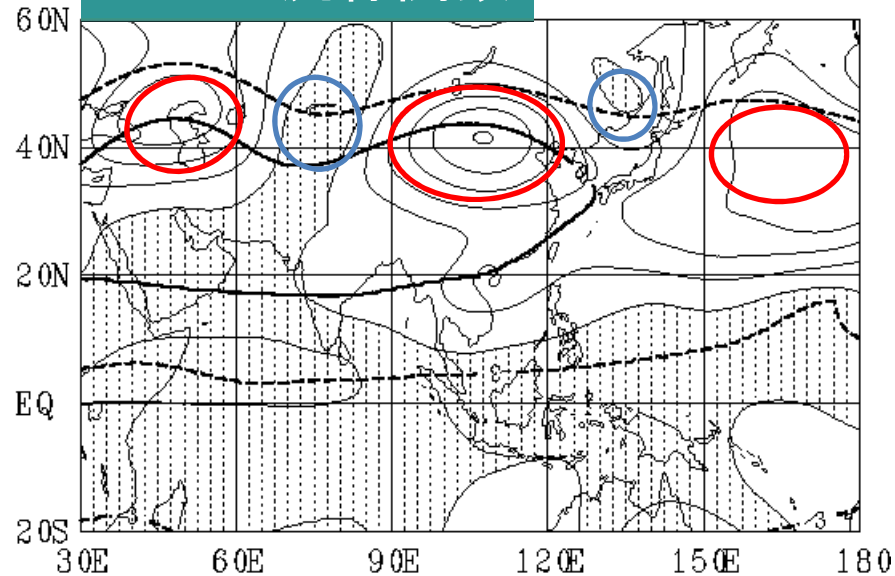
降水量



インド洋熱帯域の南東部とインドネシア付近からニューギニア島の北東海上、インド北東部から華南付近で多雨偏差。インド中部からフィリピンの東方海上で少雨偏差。日本の南から沖縄・奄美付近でも少雨偏差。

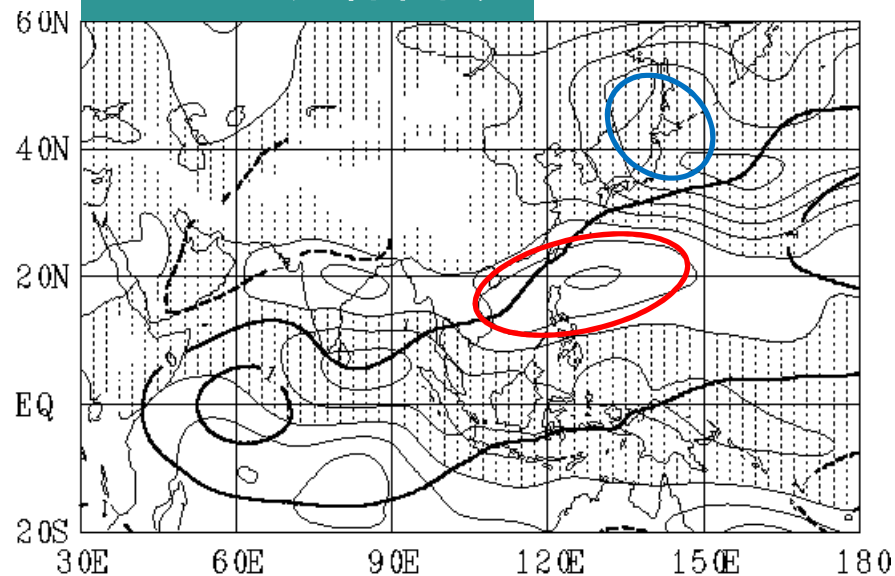
予報資料の解釈 1週目(8/2~8/8)

200hPa流線関数



亜熱帯ジェット気流に沿って波列が見られ、沿海州付近は低気圧性循環偏差、日本の東海上で高気圧性循環偏差。

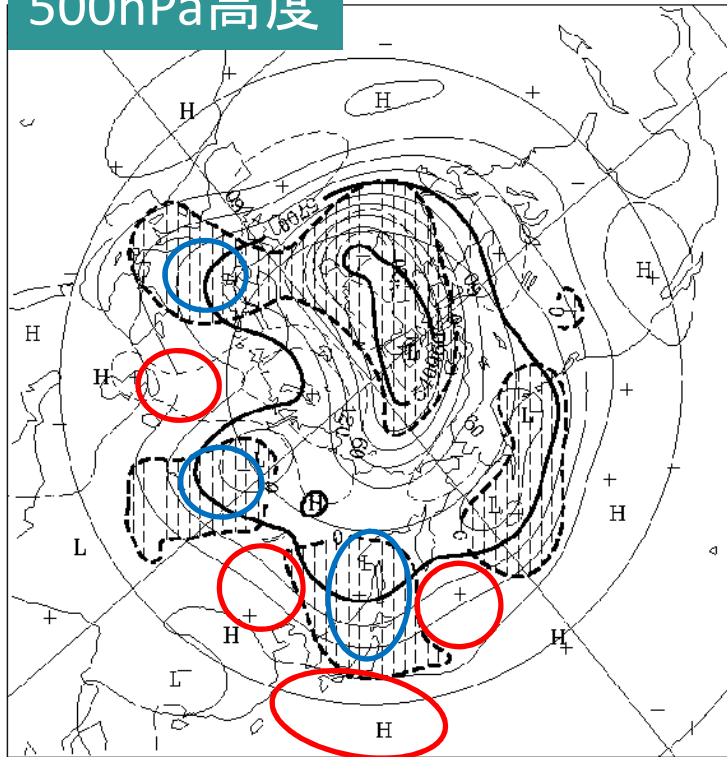
850hPa流線関数



北日本中心に低気圧性循環偏差、日本の南から南シナ海で高気圧性循環偏差。

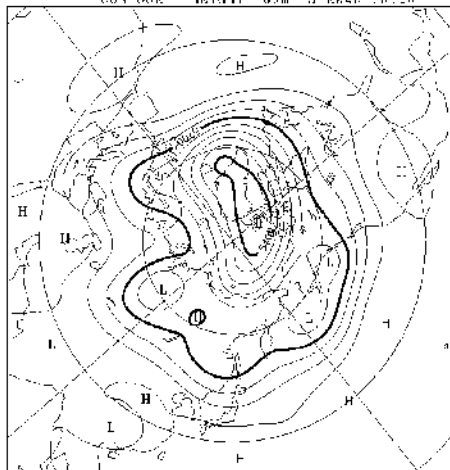
予報資料の解釈 1週目(8/2~8/8)

500hPa高度



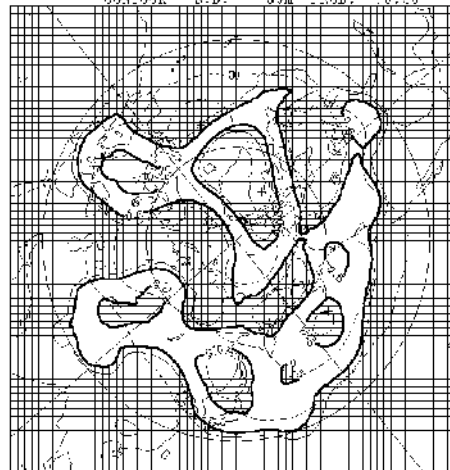
500hPa SPREAD AND HEIGHT

CONTOUR HEIGHT: 63m SPREAD: 0.20



PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.

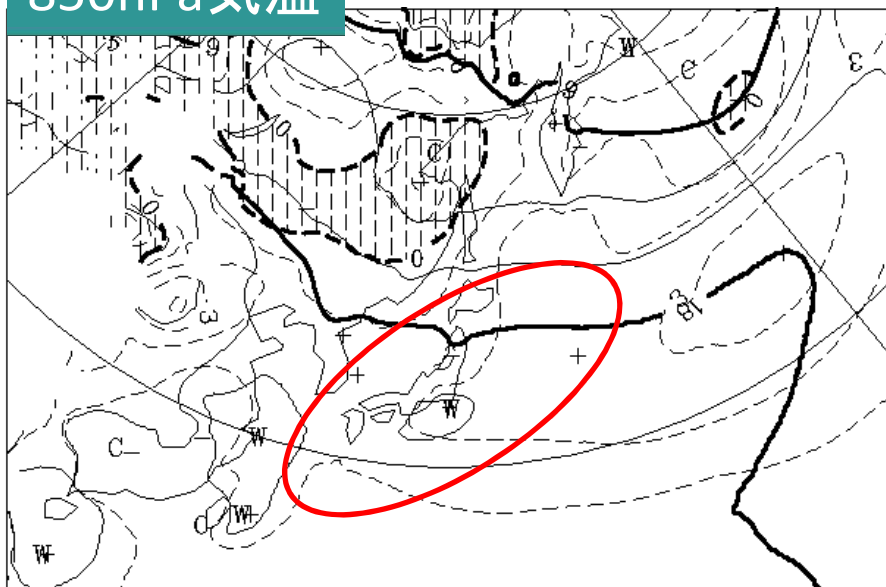
CONTOUR S.D.: 33m 400hPa: 0.25



ユーラシア大陸から日本の東海上にかけて、亜熱帯ジェット気流に沿う波列パターンが明瞭。日本付近は気圧の谷で北・東日本で負偏差。西日本以南は高気圧の圏内で正偏差。

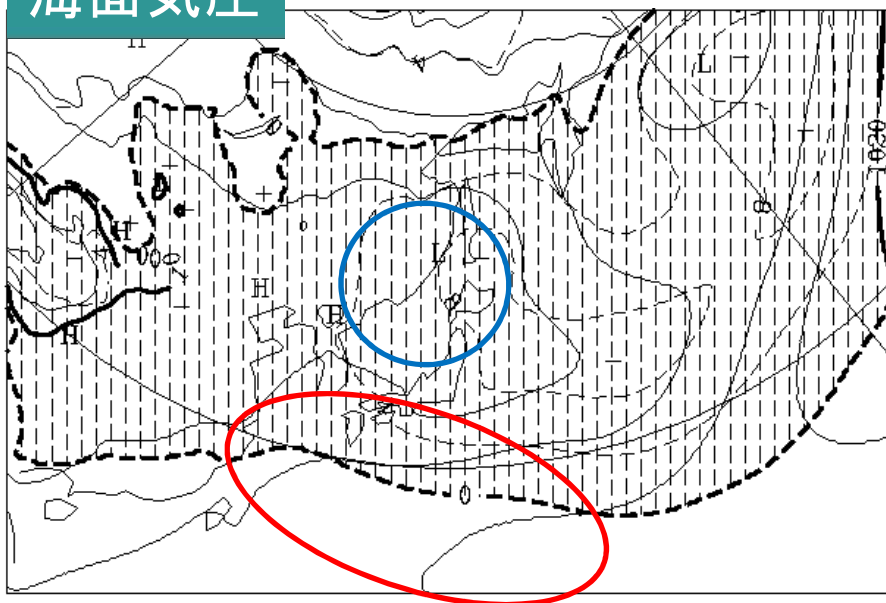
予報資料の解釈 1週目(8/2~8/8)

850hPa気温



日本付近は、東日本中心に正偏差に覆われる。

海面気圧



太平洋高気圧は、日本の南で西に張り出す。一方、中国東北区から北日本にかけて低圧部となる。北・東日本では、日本海側中心に、低気圧や前線、高気圧周辺の湿った空気の影響を受けやすい。西日本と沖縄・奄美は高気圧に覆われやすい。

想定される天候

- ・ 北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・ 東日本、西日本日本海側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・ 西日本太平洋側では、太平洋高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

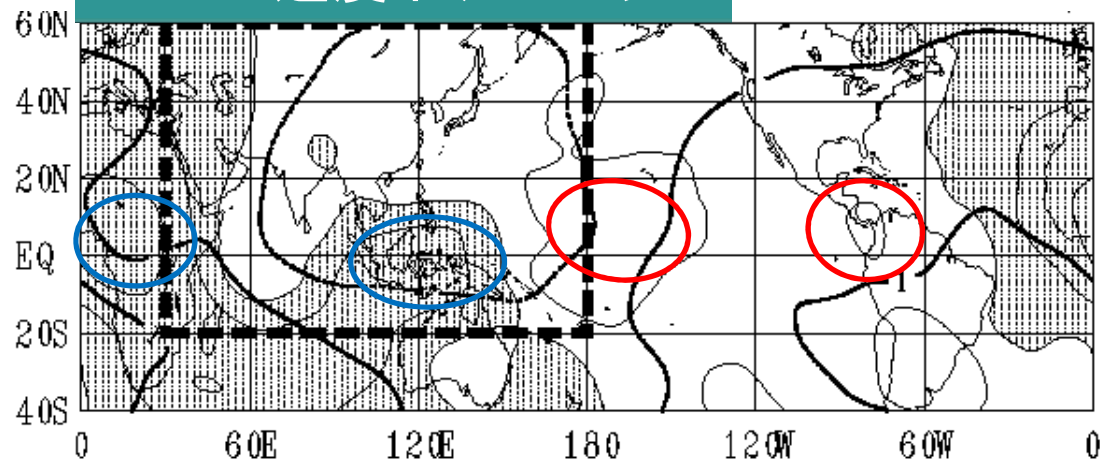
<気温>

暖かい空気に覆われやすいため、北・東・西日本でかなりの高温。沖縄・奄美では、平年並。

<天候>

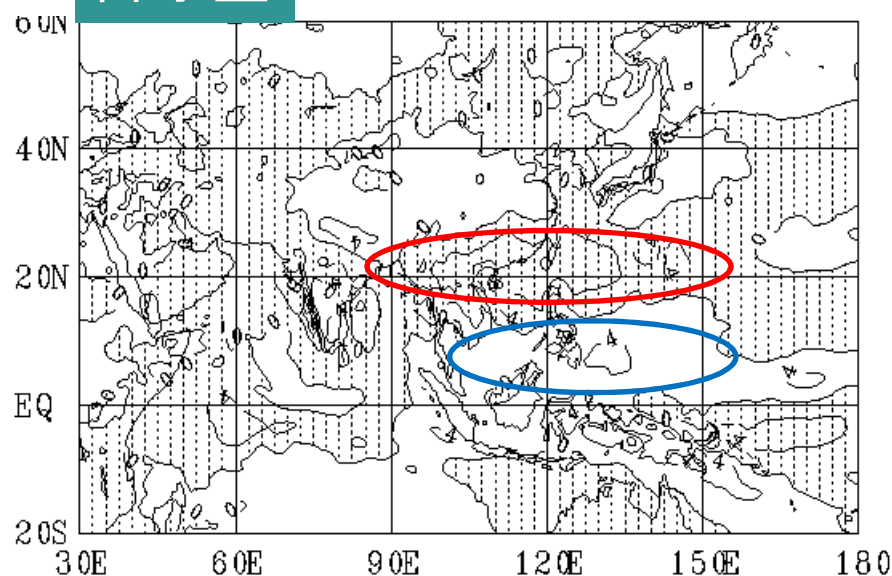
・北・東日本日本海側では、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすく、多雨傾向。
西日本太平洋側では太平洋高気圧に覆われやすく、少雨傾向・多照傾向。沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われやすく、少雨。

200hPa速度ポテンシャル



インドネシア付近、アフリカで
上層発散偏差。太平洋熱帯
域の中部、南米で上層収束
偏差。

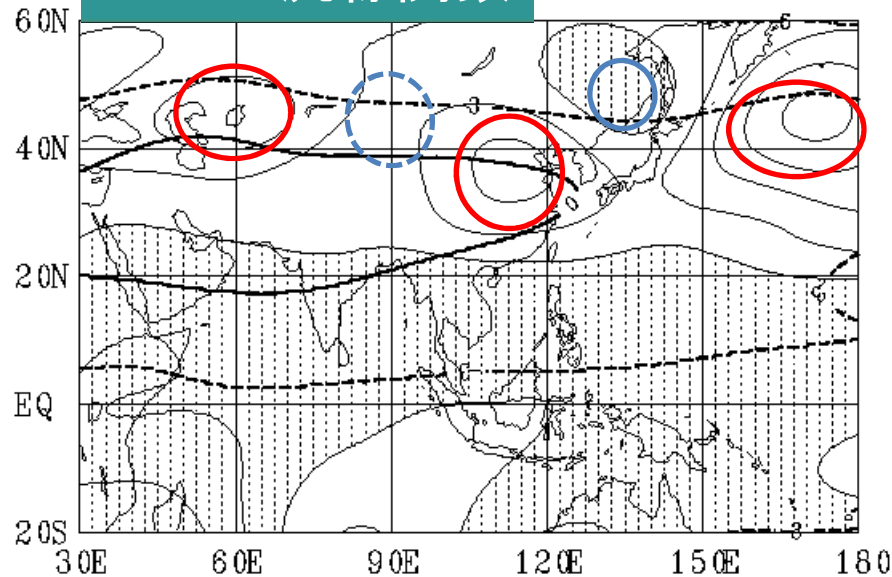
降水量



南シナ海南部からインドネシア
北方海上で多雨偏差。1週目
の少雨偏差域が全体に北上し、
華南からフィリピン北東海上で
少雨偏差。

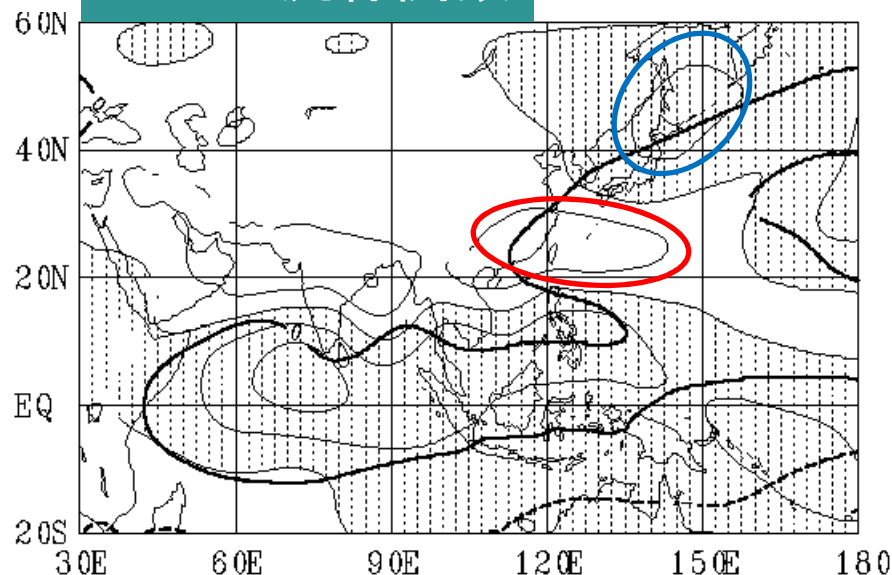
予報資料の解釈 2週目(8/9~8/15)

200hPa流線関数



1週目に引き続き、亜熱帯ジェット気流に沿って波列が見られ、沿海州付近は低気圧性循環偏差、日本の東海上で高気圧性循環偏差。

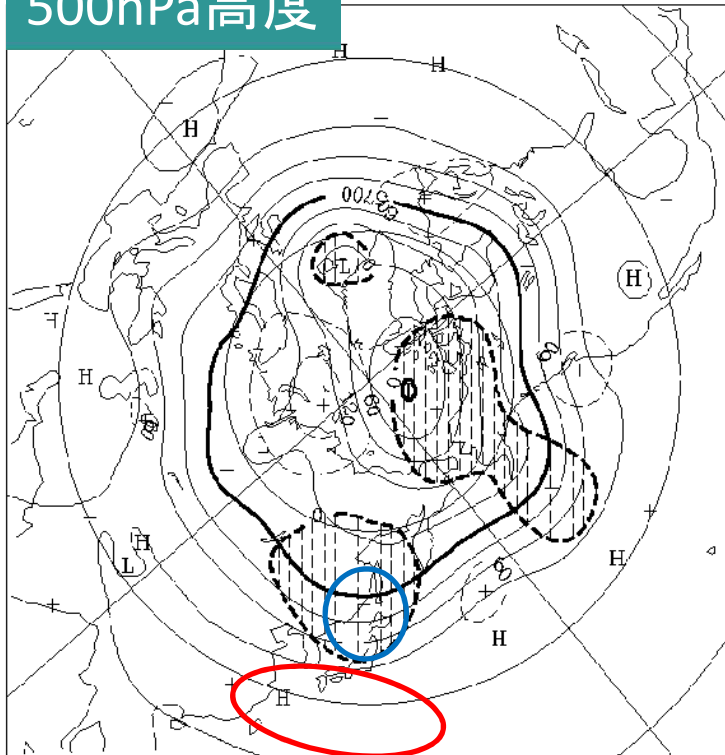
850hPa流線関数



北日本中心に低気圧性循環偏差、日本の南から華南では、対流不活発に対応して、高気圧性循環偏差。この影響も加わり、北日本の低気圧性循環偏差が強められている可能性がある。

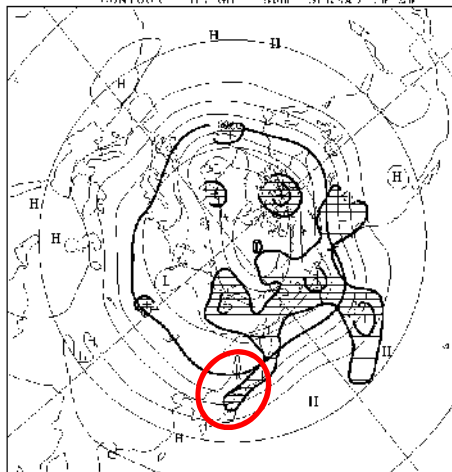
予報資料の解釈 2週目(8/9~8/15)

500hPa高度



500hPa SPREAD AND HEIGHT

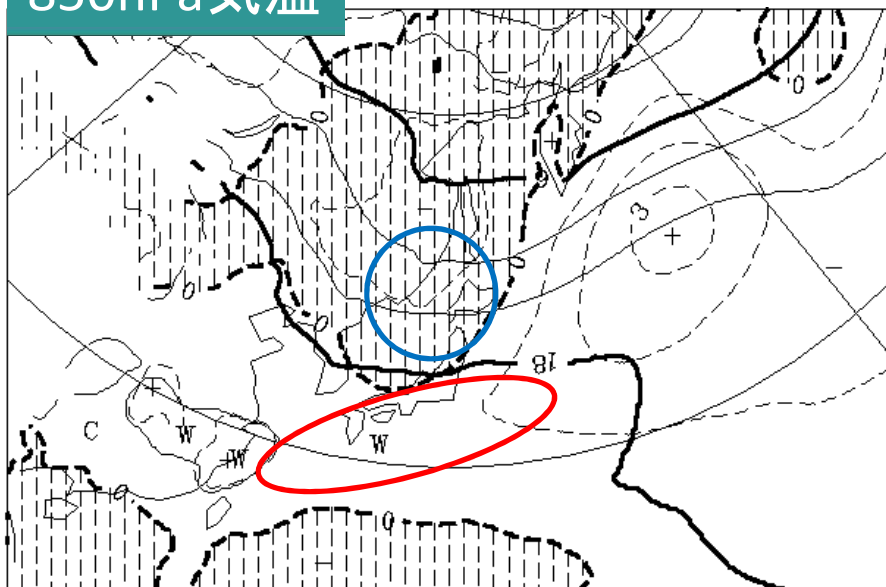
PROB. OF ILAKOMAY AND S.D.



日本付近は1週目に引き続き、
気圧の谷で北日本で負偏差。
西日本以南は高気圧の圏内
で正偏差。

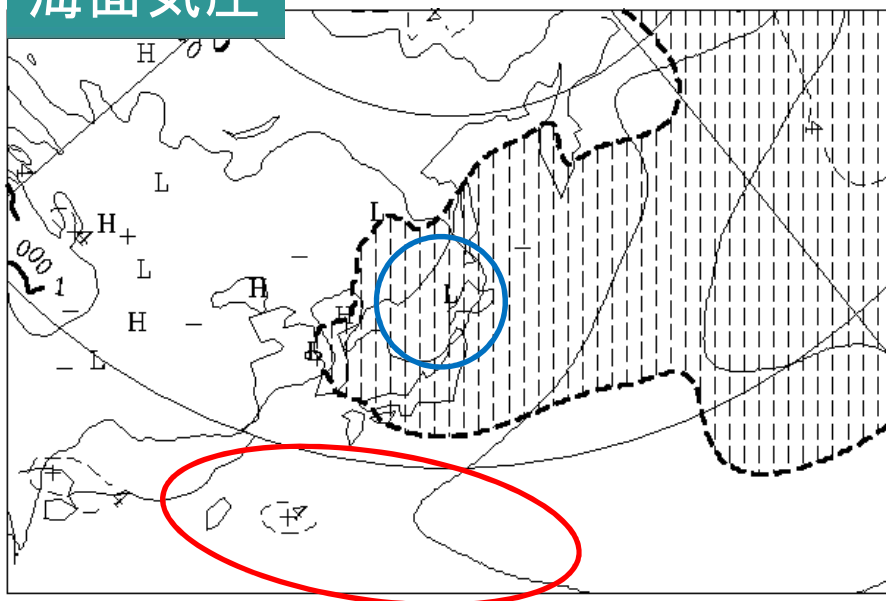
日本付近にスプレッドの大きい
領域が見られ、寒帯前線ジェット
気流と亜熱帯ジェット気流に
沿ったロスビー波東伝播の予
測の不確実性を示唆。日本付
近でのトラフの深まりに関する
不確実性が高い。

850hPa気温



北日本は負偏差。東日本以西は正偏差。北日本は周辺海域での顕著に高い海面水温の影響で、地上付近は正偏差となっている。

海面気圧



北日本付近は低圧部となり、北日本中心に負偏差で、北・東・西日本は日本海側中心に低気圧や前線、高気圧周辺の湿った空気の影響を受けやすい。太平洋高気圧は日本の南で西に張り出し、沖縄・奄美を覆う。

想定される天候

- ・ 北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・ 東・西日本日本海側では、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- ・ 東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・ 沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

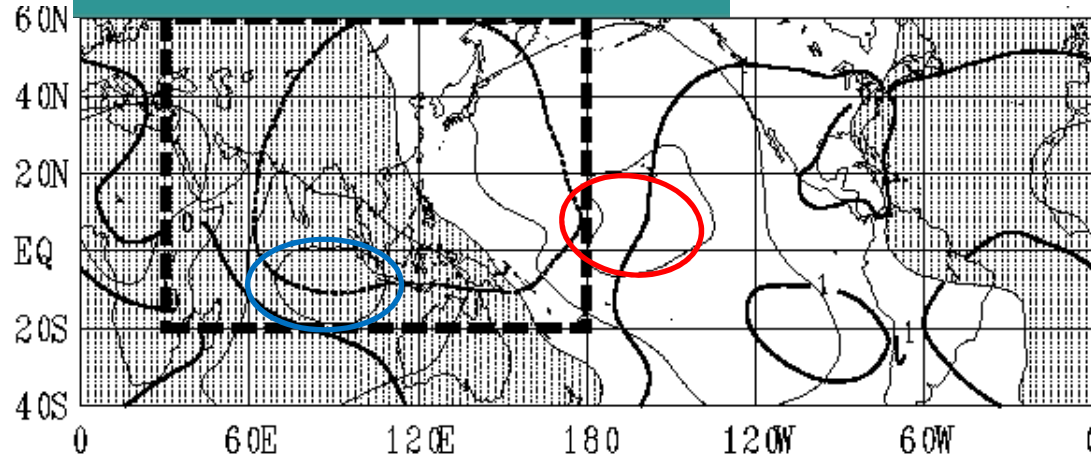
<気温>

暖かい空気が流れ込みやすく、北日本と沖縄・奄美で高温傾向。東・西日本で高温。

<天候>

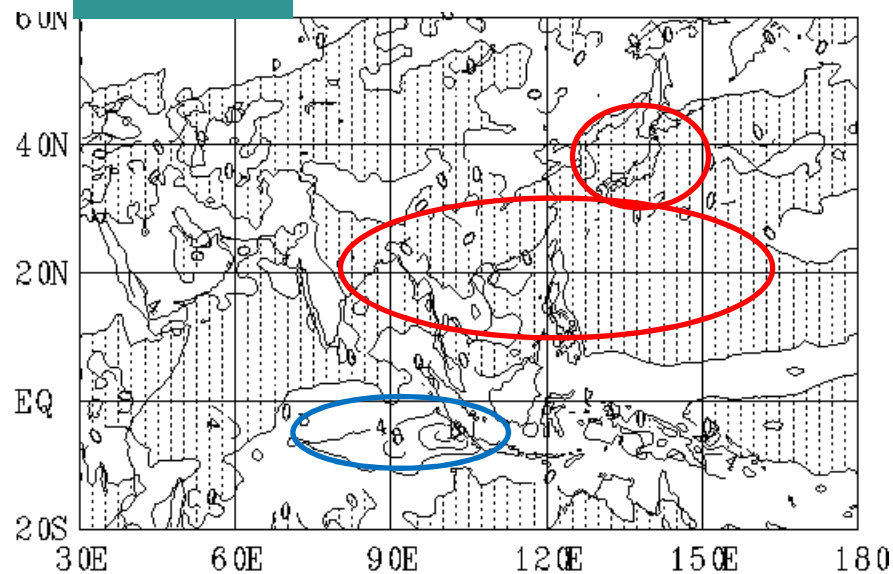
・北日本日本海側では、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすく、多雨傾向。東・西日本日本海側では多雨傾向・寡照傾向。北・東・西日本太平洋側では平年程度。沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われやすく、少雨傾向・多照傾向。

200hPa速度ポテンシャル



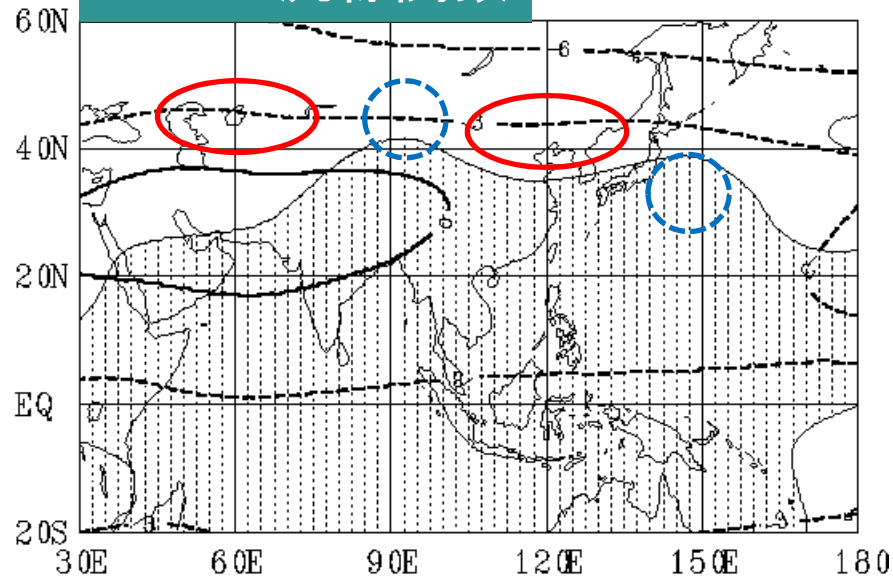
インド洋で上層発散偏差。太平洋熱帯域の中部で上層収束偏差。

降水量



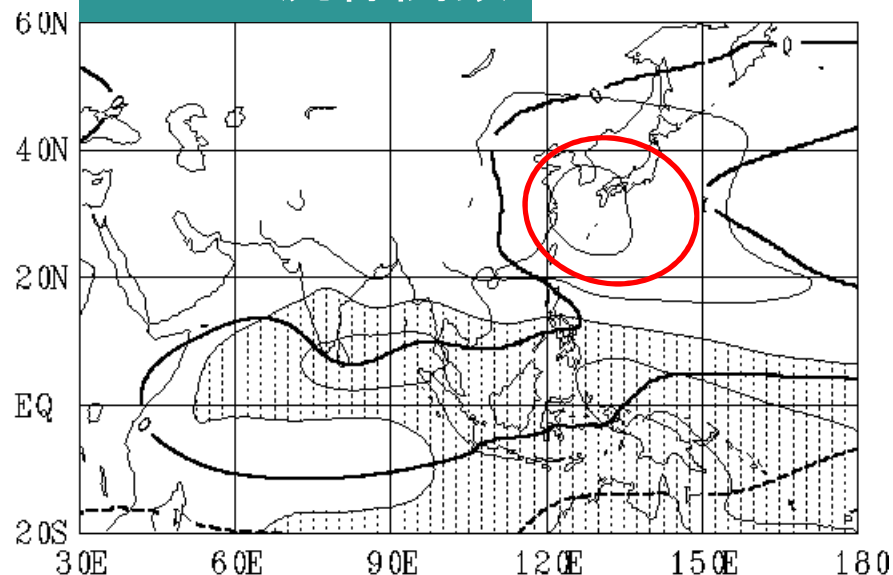
インド洋熱帯域の南東部で多雨偏差。ベンガル湾からフィリピン東方海上や日本の南にかけて広く少雨偏差。日本付近も少雨偏差。

200hPa流線関数



亜熱帯ジェット気流に沿って弱いながら波列が見られ、中国東北区付近で高気圧性循環偏差、日本の東で低気圧性循環偏差。アジアから日本の東海上にかけては、亜熱帯ジェットがやや北偏している。

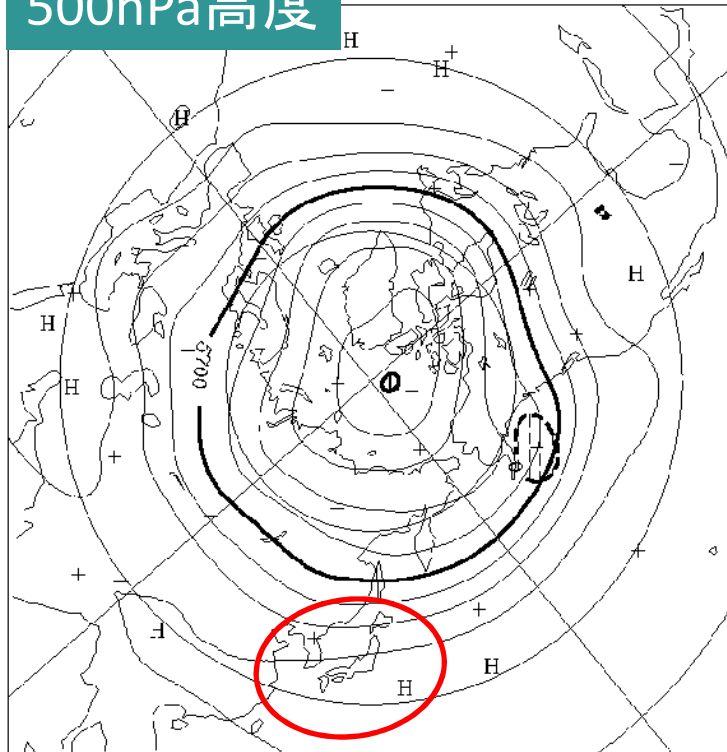
850hPa流線関数



上層の高気圧性循環偏差や日本の南の対流不活発、インド洋の対流活発に対応して、沖縄・奄美付近を中心として、日本付近は広く高気圧性循環偏差。

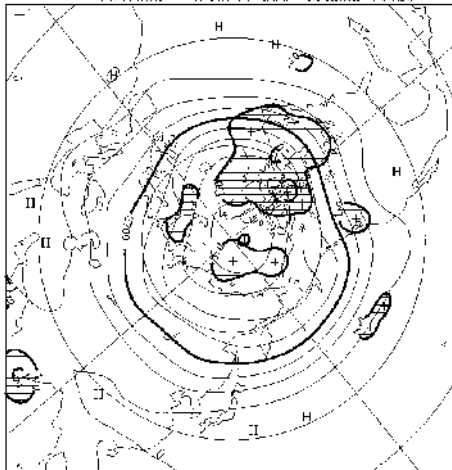
予報資料の解釈 3～4週目(8/16～8/29)

500hPa高度



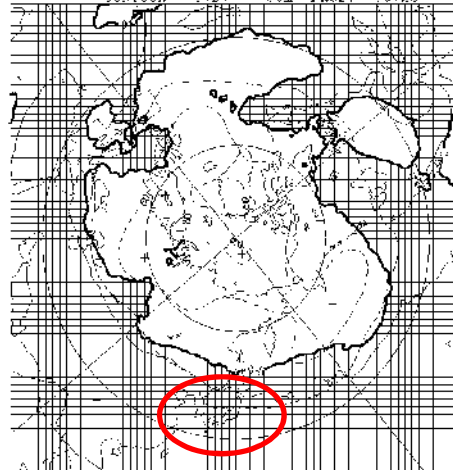
500hPa SPREAD AND HEIGHT

CONTOUR HEIGHT: 60m SPREAD: 0.20



PROB. OF 1. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR S.D.: 20m PROB.: 0.25

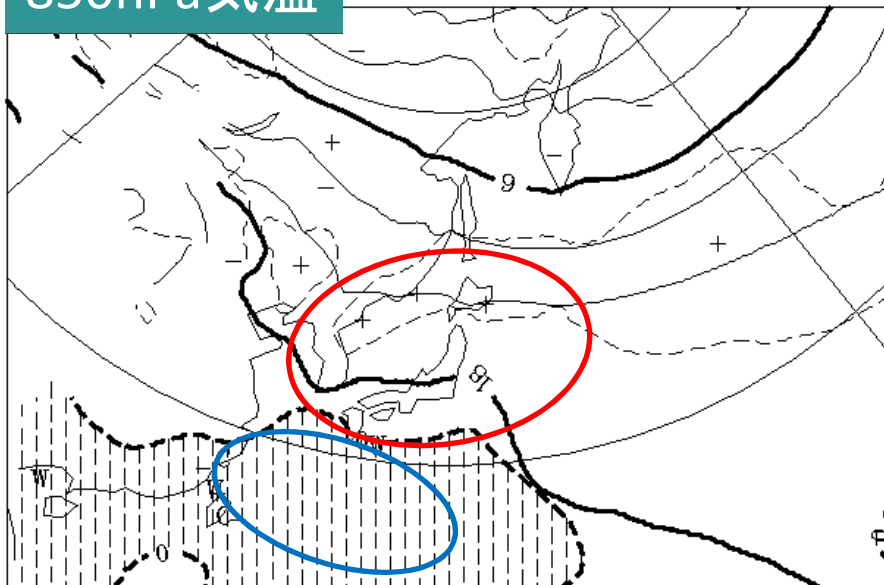


北半球中緯度帯のほぼ全域で正偏差。日本付近も正偏差で東日本以西は高気圧に覆われる。

日本付近は正の高偏差確率50%以上の領域に覆われ、スプレッドは比較的小さく、高気圧に覆われる不確実性は比較的小さい。

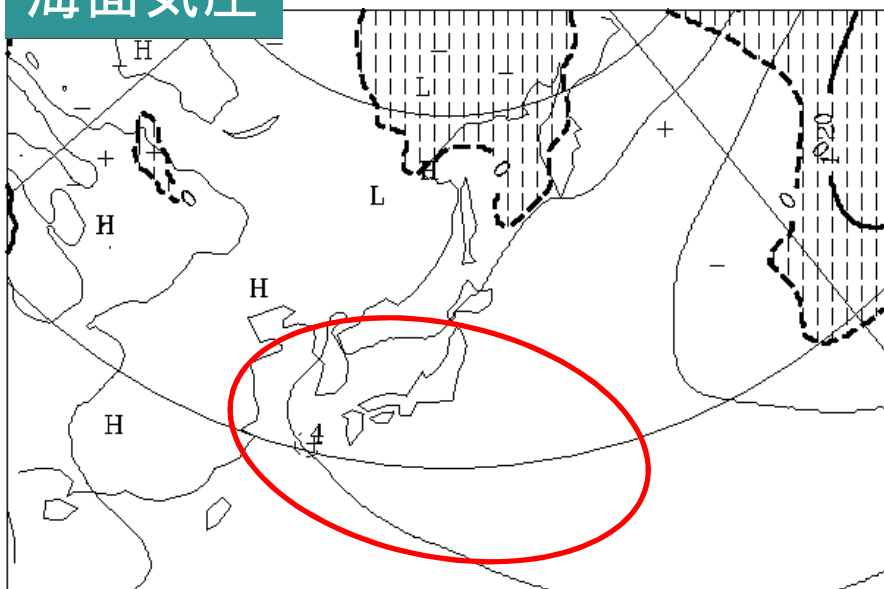
予報資料の解釈 3～4週目(8/16～8/29)

850hPa気温



北・東・西日本では正偏差に覆われる。沖縄・奄美は負偏差となる。

海面気圧



日本付近は、太平洋高気圧に覆われる。

想定される天候

- ・ 北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、太平洋高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・ 東・西日本では、太平洋高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・ 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

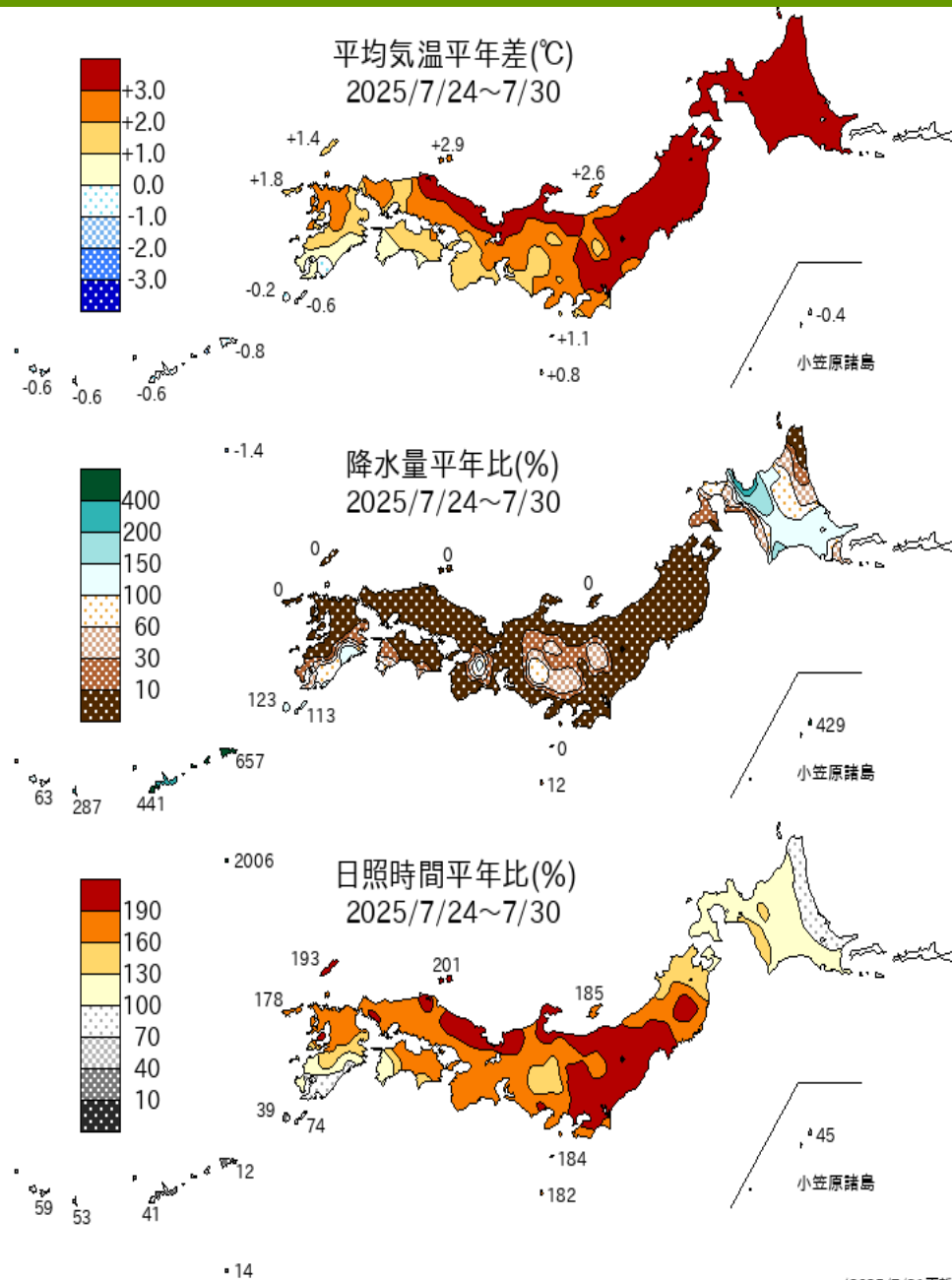
<気温>

暖かい空気に覆われやすく、北・東・西日本で高温。沖縄・奄美でほぼ平年並。

<天候>

・北・東・西日本では、太平洋高気圧に覆われやすく、多照傾向。沖縄・奄美では、平年程度。

最近1週間の天候経過



最近1週間(7月24日~7月30日)は、北海道地方では低気圧の影響で、九州南部では太平洋高気圧周辺の湿った空気の影響で、それぞれ曇りや雨の日が多くなりました。そのほかの北・東・西日本では、局地的な雷雨があったほかは、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が続き、降水量は平年を大きく下回り、日照時間は平年を大きく上回りました。沖縄・奄美では、台風第7号及び第8号の影響を受け、雨の日が続き、大雨となった所もありました。このため、降水量は平年を大きく上回り、日照時間は平年を大きく下回りました。気温は、北・東・西日本では暖かい空気に覆われ、北日本や日本海側を中心に平年を大きく上回り、30日には兵庫県丹波市柏原で日最高気温が41.2°Cとなり、全国の気象台等とアメダスにおける観測史上1位の高温を記録しました。沖縄・奄美では天気がぐずつき、気温は平年を下回りました。